

看護師のわざ



【中野キャンパス】ヒューマンケア学部 看護学科 教授

河合 桃代 Kawai Momoyo

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 看護師・わざ・看護技術・熟達・エキスパート



研究の概要

SDGs 目標 3 : すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに

看護実践における看護師のわざについて、手術看護、嚥下障害を伴う方への食事介助、胃内視鏡検査を受ける患者や熱傷患者への看護実践などを焦点にあてて研究した。手術看護や食事介助では、看護実践場面をビデオカメラで撮影し、後で場面を当該看護師と視聴しながら振り返り、場面を思い起こしながら研究者と語り合うことで言語化を促す方法を用いた。胃内視鏡検査や熱傷では、研究者自身が体験したことを研究者の視点で分析する一人称研究の方法を用いたことも、オリジナリティがあった。急性期領域における専門看護師やクリティカルケア領域における認定看護師という熟練者に焦点を当て、コンピテンシーについて研究を実施した（共同研究）。現在は、手術看護認定看護師のコンピテンシーに焦点を当てて研究中である。

看護師のわざとして共通していたことは、「待つ」ということも選択肢の一つにあることであった。さらに、看護師は、常に予防に重点を置いたり、患者の機能を補完しながらかかわっていたり、気持ちよさをもたらすケアをほどこすことで苦痛を緩和するケアをおこなっていた。

今まで～現在、注目している看護のわざ



手術看護・周術期看護



クリティカルケア看護



嚥下障害を伴う患者への
食事介助

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

看護実践における看護師のわざは、個人の経験のみにとどめるのではなく、看護技術として知識として形式化されれば、伝承や教育もでき、ひいては、看護の質の向上につながる研究である。看護技術教育、継続教育、わざの伝承、看護技術の習得などに役立つことが期待できる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【学会発表】

- ・「嚥下障害者への食事介助における看護師のわざの研究—身体を介した相互作用に焦点をあてて—」
- ・「急性期領域における専門看護師のコンピテンシーを形成する要素と構造」